

＜2021年度事業計画書（案）＞

【事業方針】

前年度は新型コロナウイルスおよびその対策に全てを注いだ1年であったと言っても過言ではありませんでした。コロナの影響がいつまで続くのか、従来、懸案事項となっていた諸問題と感染対策の双方をどのように受け入れ、協会活動を「日常」の状態に復元していくのか、ひいてはそれまでの「日常」を上回る「将来」を手にするべくどのような検討とチャレンジをすればよいのか、これらを加盟団体各位と当協会の発展にどのように役立てていくのか、今年度は試行錯誤の繰り返しを覚悟の上で「勝利の方程式（日常の復元とニューノーマルの定着）」を導き出せればと考えております。

また、今年度は「2020東京オリンピック・パラリンピック」が予定されていますが、地元競技団体として組織委員会ならびに公益社団法人日本ボート協会からの様々な協力要請に可能な限り応えていかねばならないものと思料します。

更に、2022年度より本格的に供用開始される「海の森水上競技場」のレガシー計画の実施にあたっては、公益社団法人日本ボート協会と連携して総合型スポーツクラブの設立・運営に深くかわかることで、他の競技団体とのリレーションを図り、一定の役割を果たさねばなりません。

今年度は、

- ◎日常の協会活動の回復（ニューノーマル対応の完了）
- ◎2020東京オリンピック・パラリンピックにおける地元競技団体として必要な協力
- ◎総合型スポーツクラブの設立をはじめ、海の森水上競技場のレガシー計画の実現に向け尽力する

以上3点を協会として、各本部共通の課題として取組んでいく所存です。

各本部の事業計画は以下の通りです。

【各事業計画】

1. 競技開催事業

- ・以下の通り、競技会を開催する。

3月20、21日	第69回お花見レガッタ 第30回東日本中学選手権競漕大会	戸田
7月17、18日	第70回東日本選手権（2,000M）	戸田
6月20日	第6回東日本夏季競漕大会	戸田
10月16、17日	第44回東日本新人選手権競漕大会	戸田
	第17回スカル選手権競漕大会	
	第31回東日本中学新人選手権競漕大会	

2. 普及事業

・以下の通り大会を開催する。

6月20日	第5回東日本マスターズ競漕大会	戸田
10月16日	第21回谷古茂盾争奪マスターズ競漕大会	戸田
10月17日	第11回小学生レガッタ	

・例年通り、活動を行う。

東墨田 ボート教室 1月～12月 毎月第1日曜日

東大島 ボート教室 4月～10月 毎月第1土曜日

水元 ボート教室 4月～11月 毎月第3土曜日

多摩川, 日本橋川 ボート教室日程 未定

3. 強化事業

(1) 以下の通り予選会を開催する。(高校関係は高体連との共催)

5月9日	国体少年チャレンジマッチ	戸田
6月5日	第76回国民体育大会ボート競技 成年都予選会	戸田
6月13日	第69回全国高等学校選手権競漕大会 都予選会	戸田
8月29日	2021年度関東高等学校選抜競漕大会 都予選会	戸田

(2) 以下の事業を強化事業として実施する。

① 国体候補選手強化事業

② 国体強化遠征

・以下の通り、国体強化遠征・強化試合を予定する。

3月20、21日	お花見レガッタ	戸田
4月中旬	三大学レガッタ	戸田
4月下旬	グリーンレガッタ	戸田
4月中旬	中日本レガッタ	愛知池
5月	朝日レガッタ	琵琶湖

(3) 以下の5事業を（公財）東京都体育協会の受託事業として実施する。

○国体候補選手強化事業

○ジュニア選手強化事業

○ジュニア育成事業

○オリンピック候補選手強化事業

○トップアスリート発掘事業

4. 審判事業

(1) 東京都ボート協会主催レースへの審判体制の維持

各大会 20 名の審判体制を堅持する。また、特にお花見レガッタ、東日本レガッタ等、全国規模でクルーが集まる大会については、艇計量の実施を視野に入れる。

(2) C 級審判員の活動機会増加策と新規養成

コロナの関連で活動期間が狭められている審判に対し、勉強会、他県大会派遣、日本ボート協会大会等にて活動機会を増やし、現在 3 割程度の稼働率を高め技量維持を行う。また 10 名を目標に来年度の新規審判員を養成する。

(3) B 級審判員昇格

2020 年コロナにより中止されている B 級試験への挑戦資格を持っている C 級審判員への当協会研修会を実施する。